

# 誰もが暮らしやすいまちへ みんなで取り組む ユニバーサルデザイン



私たちのまちには、お子さんやお年寄り、障害のある方、外国人の方などさまざまな人が住んでおり、みなさんもその一人です。誰もが暮らしやすいまちにするための考え方が、「ユニバーサルデザイン」。その実現には、お互いを理解し、助け合うことが大切です。

ユニバーサルデザインを進める鍵は、一人ひとりのちょっとした心掛け。区内で取り組みを進めている方に話を聞きました。

平和・人権・男女共同参画係 / 4階  
☎ (3228) 8229 FAX (3228) 8860



街中では

## 「なかのおもてなしマップ」の発行

授乳室や休憩スポット、傾斜・段差などの情報満載。英語も併記



なかの生涯学習サポーターの会  
(左から)伊藤さん、道林さん

以前、バリアフリーマップの作成に協力するため、車いすでまちを巡りました。その際、ちょっとした段差や柵に不便を感じることに気がきました。

みなさんには、自分の住むまちを好きになってもらいたいと思っています。そのためにも、障害の有無や年齢に関わらず、さまざまな方と一緒に活動したいですね。

## 区内のトイレ情報の調査

オストメイト対応、ベビーチェアの有無などの情報を下記HPに掲載



▲ <https://www.lwd.tokyo/toilet-nakano/>



## 自治体職員研修の講師

活動で培った視点を基に、職員の車いす体験などをサポート

## こんなこともユニバーサルデザインなんです！

特別なことをする必要はありません。できる範囲で、白頃から少しの心配りをすることが、ユニバーサルデザインの第一歩。思いやりの心を持って行動しましょう。



困っている人がいたら、「お手伝いしましょうか」と声を掛けてみる



必要としている人が使えるように、多目的トイレなどの使い方を見直してみる



関東バス株式会社  
(左から)篠原さん、鈴木さん、信田さん

公共交通では

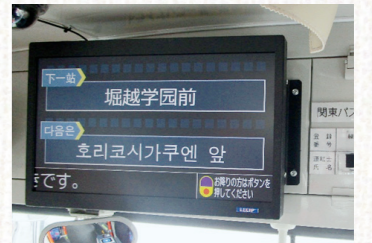
## ノンステップバスの導入

段差をなくし、お子さんや高齢者も乗り降りが楽に



## 乗務員の研修

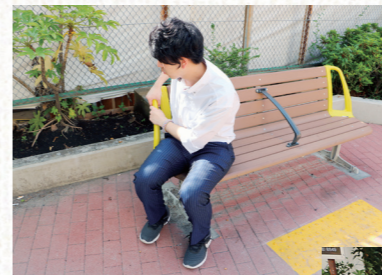
スロープ板や高齢者擬似装具を使つての体験も



## 電光表示の4か国語対応

日本語の他、英語・中国語・ハングルで表示

さまざまな方が暮らしている「地域」の役に立つ取り組みを考えています。哲学堂下のバス停は、「木の葉から垂れる水滴でぬれやすい」という声を受けて屋根を設置したんですよ。現在は、「海外の方にも分かりやすい路線系統表示」など、東京オリンピック・パラリンピックに向け、バス業界が一体となって進めています。



## 区立公園では初導入のベンチ

立ち座りの動作を助ける手すりが特徴的



## 水飲み場の工夫

車いすでも利用可能に。お子さんにも使いやすいようステップも設置



## 点字シート付き案内板

直感的に分かるようピクトグラム(図記号)も使用

公園では



中野区都市基盤部 公園緑地課  
公園維持・管理係の西脇主査

昨年、ユニバーサルデザイン対応のため追分公園を改修しました。その際、法令等の基準を満たすだけでなく、「全ての人にとって使いやすい」ことを意識しました。

その一つが勾配。園内全体の勾配を緩やかにするだけでなく、公園やトイレの出入り口付近を平らにするなど工夫したんですよ。

## 「中野区ユニバーサルデザイン推進計画」を策定しました

計画の全文は区HPか、区民活動センター、区役所4階区政資料センター、同4階7番窓口でご覧になれます。区は、この計画に基づき、ユニバーサルデザインの視点で区のサービスや施設等を点検します。また、体験型イベントやサポーター養成講座の実施などにより、区民のみなさんへの理解促進を図ります。取り組みの状況は区HPなどでお知らせします。